



かたくり

学校教育目標 夢ふくらませ 心かがやく



令和3年度
第14号
2021. 6.29

ふるさとの歴史を実感しました！！ ～くりっこ探検隊6年～

6年生は、門屋城址・真山寺・安楽寺と、ふるさとの歴史を探究しました。現在、残っているものを自分の目で確かめたり、地域案内人の方々から貴重なお話を聞いたりすることで、ふるさとの歴史に興味を深めることができました。自転車で移動するにはちょっと長い距離でしたが、元気に探検することができました。駐在所のKさんには、今回も見回り活動をしていただきました。ありがとうございました。

【地形を最大限に生かしたお城「門屋城」】

門屋城は、急斜面と川をうまく用いて作られていること、また、案内人のKさんから見せていただいた「薬研堀（やげんぼり）」というお堀の痕跡を通して、戸沢氏がいかに堅固なお城を建てていたかを実感することができました。「百聞は一見にしかず」。くりっこ探検隊ならではの貴重な体験ができ、大喜び子どもたちでした。Kさんからは分かりやすい資料も作成していただき、とても参考になりました。



【戸沢氏が戦勝を祈願したお寺「真山寺」】

真山寺では、住職のKさんから、昔のお寺の役目（役所的な機能、人々が教を習うところ）について教えていただきました。戸沢氏が、このお寺を作ることで自分たち一族だけでなく、この土地の住民たちの幸せを祈っていたことが分かりました。樹齢600年から700年といわれる「乳イチョウ」（県の天然記念物）は、古くからこの地域を見守ってきた木であるという言葉に重みを感じていた子どもたちでした。



【小山田地区のお寺「安楽寺」で、歴史を推理してみることの面白さを感じました！】

安楽寺の住職、Nさんから、歴史は穴あき問題のようなもので、分かることもあれば謎も多い。その謎を推理していくことも面白いのではないかというお話をいただきました。なぜ、安楽寺の檀家さんには上桧木内地区の方々や旧玉川地区の方々が多いのか、子どもたちなりに推理してみるのも楽しそうです。

